

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホームエルムの家(きらめき)	評価実施年月日	平成19年9月30日
評価実施構成員氏名	青池史子、中尾久美子、小松淳一、西口弘美、村上幸奈、長尾恵美		
記録者氏名	青池史子、中尾久美子、小松淳一、西口弘美、村上幸奈、長尾恵美	記録年月日	平成19年9月30日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>○誰にでも理解出来る具体的な内容にしてあり、職員・利用者さん・御家族が目に見えるリビングに掲示して、常に努力をしている所です。</p>		<p>2ヶ月に1度推進会議を開催している 町内会及び地域密着し地区センターを利用し交流を深めている</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>○理念を日々の実践に結びつく具体的な内容にする(朝、臨時カンファレンス、定期カンファレンスを開催し取り組んでいる。理念は常に目につきやすい所に掲示してあるので気づける事が出来る)</p>		<p>利用者さんの自由な空間の中でその人らしく常に運営している 自由に発言できる環境である 朝ミーティング時などに、ホーム長より職員へ具体的に話している。</p>
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月に1度の家族会開催には町内会長まで出席して下り理解して頂ける様に取り組む、時には町内回覧には掲載して頂いている</p>		<p>○家族会は地域の方々、家族に積極的に呼びかけ、参加して頂いている。 ○家族会では書面で看りに関しての指針についても説明し提示して頂いている。</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>○町内会に入会し、町内者集まりをしたり、庭の花を持って訪問してくる地域の方もいたり、散歩途中に花をわけてくれる所もある ○こちらから挨拶をする所も心がけている。</p>		<p>○ホームで収穫した野菜を届けたりしている ○母体である建設会館で、近隣の除雪、排雪の協力している ○ボランティア、地域の方、業者の方、家族の参加も積極的 ○買い物、散歩途中にはこちらから声をかけ挨拶も積極的</p>
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>○町内会に入会し、夏のイルミネーションでは、町内回覧に掲載して頂き、気軽に参加して頂ける様イルミネーションも開放し交流を深めよう心がけている。</p>		<p>○イルミネーションでは、ソフトを飾り、気軽に飲食できたり、ゆわいお話しができる所、テーブル椅子も多数用意し、焼工房おでん、おにぎり、焼そば等を食べて頂く。又ヨーヨー、綿あめ、わらび、ビンゴゲームをしたり、お年寄りでも楽しめる様、家族を呼んで参加できるように努めている。</p>
<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>○町内会者集りに参加している。 ○地区センターに利用者さんの作品を展示の機会がある</p>		<p>○近隣の病院に、利用者さんの作品を展示・体験があり参加した ○町内者集り以外でも公園やホームの近隣のゴミ拾いも利用者さんと実施している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>○常日頃の意識づけをしている</p> <p>○自己評価・外部評価は評価が出た時より改善して取り組む。</p>		<p>○具体的に改善を必要とする事柄にはおまやかに対処している。</p>
<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>8 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>○2ヶ月に1度開催</p> <p>○地域・尼括センターの方との交流</p>		<p>○町内会及び家族・利用者御本人職員参加での意見交換。</p>
<p>○市町村との連携</p> <p>9 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>○市町村との連絡を常にとりこめる</p> <p>○西区の管理者会議出席</p>		<p>○グループホームの管理者会議出席。</p> <p>○市町村事業の要請があれば受託する体制がある。</p>
<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>10 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>○講習会出席〈勉強会〉</p> <p>○書物に於いて個々が再確認等。</p>		<p>○必要とする利用者さんへの活用方法の説明</p>
<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>11 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>○社会問題化している事柄が目につくのでその都度話題にする。テーマに基づき話し合いの場を設ける</p> <p>○防止関連についての学ぶ機会を設ける</p>		<p>○意見交換の場や実態報告に於き社会問題化している点にかき及ぶ事を見逃さず事柄に於き注意している。(現在当ホームでは実態良好)</p>
4. 理念を実践するための体制			
<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>12 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>○理念を明示(利用案内時の説明文書及び契約書に分かりやすく示し入居者及び家族等に説明、同意を得る)</p>		<p>○十分の説明、理解の上納得を得ている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄崎付近にはオミ着窓口のポスターを員とり意見箱を設置し、窓口担当者、電話番号、ホーム外の相談窓口の連絡の記載もある。</p> <p>玄崎に御意見箱を設置している</p>		<p>直接意見等(内容は不明)は、 。なので、現在玄崎にはありません</p>
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>ホーム便りを発行しているが、定期発行とはまだ言えない。</p> <p>利用者さんの近況状況は、ホーム長、取組員が電話で報告する事は盛っている。面会時に報告も作られる</p>		<p>家族に対してホーム便り(近況)の様子を常に報告し、趣じして頂いている</p>
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>電話で近況報告する際には必ず「家族の意見、不満、苦情に関する事」言語は真にも角出れて、カンパレンス開催時(玄崎)棟討ちを実施している。</p>		<p>このような場合は、前回の玄崎でも受け対応させて頂いています。</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>その都度、各フロア担当者を決め、たがさわる者が固定する事なく、それぞれの意見を出し、検討し、必要なら実施している。</p>		<p>ホーム長、事務長と意見交換し、改善すべき事は実施している。</p> <p>母体との全体会議を開催し、意見交換</p>
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>柔軟に対応出来る様、全フロア勤務調整を行い実施している。</p> <p>ボランティア参加の調整も行っている</p>		<p>各階階の連携を取り、勤務調整をスムーズに実施している。</p> <p>ホーム長、事務長も勤務調整実施</p>
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>各フロア移動があっても普段から利用者さんとの交流する様心がけてもいるし、利用者同志の交流もあるので、自然体でダメージが軽減されると思っております。勤務調整で各フロア勤務している事も良い効果につながっていると思っております。</p>		<p>半年に1度の勤務交代の一部実施しているが、2〜3名づつし、取組員は日常から他階へ考慮を求め、交流するよう心がけています。勤務調整でも、圓いばゆ、消化等受診等に関わっているし、家族の方、業者さん、ボランティアさんからも気軽に話しかけて下さっている。なので、利用者さんにも馴染みしておき、不安が少ないようです。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	○ 研修会への参加している	○	○ 段階に応じて研修を怠らず全ての職員に内容を周知している ○ ホーム独自の教育カリキュラムを組んで実施
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	○ 行事に参加している ○ 同じ同業者との定期的な情報交換		○ お祭り<同業者の>に参加する機会を共有 ○ 常に向上心のある話題提供によるネットワークづくりを進めている
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	○ 自職員の勤務ローテーションを組んでいる ○ 相談窓口を設けている ○ 食事会などで気分をリフレッシュする機会を設ける		○ トップに立っている者が常に言葉掛けたしく話しやすい環境を作っている ○ 定期的に食事(カラオケ等)に行く。他のグループホームとの交流にも意見交換
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	○ 意欲を持たせる言葉掛けをしている		○ 1対1で話す機会を作って理解を導いている。 ○ スキルアップには補助金支援がある<各自の希望>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	○ あらゆる場面で コミュニケーションを持つ事により気軽に希望している事をこちらに伝えてくれる ○ この担当者で相談し本人の納得の上希望を取り入れる。		○ どんな小さな要望も、見逃さずのよい介助に心掛けている
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	○ 家族が来所した時に入居者と一緒に食事と一緒に話せる場面が作れている ○ 通言などで意見交換		○ 訪問時には居心地よく過ごせるよう雰囲気を作っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>25 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>○ボム長、事務長、ケアマネジャー、介護職員、利用者などを全員参加にて臨時カンファレンスを開催し、不満や希望の事等を話し合い、本人に対してより良い提供とできるよう支援している。</p>		<p>利用者を中心としたニーズで考えているが、先ず家族の精神安定が第1に解決して頂くためのケースも多々有り対応している。</p>
<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>26 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。</p>	<p>利用者さんからの意見も出しやすい雰囲気づくりの中で話し合いを開催する機会が多くの場、馴染みのあるサービスが提供が実施しやすい。</p>		<p>家庭的雰囲気になり、スタッフ利用者さんの協力も実施出来ている。</p>
<p>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</p>			
<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>27 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。</p>	<p>○より良い介護で本人のプライド・誤りを傷つけないように忍耐強く働きかけ本人が思っている「現実」に合わせた支援をする姿勢があるので支えあう関係を築いている。</p>		<p>○本人が何をしたいか、望む事を時間をかけながら聞いて対応する ○本人に対して心地よいコミュニケーションとれるように心がけている</p>
<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>28 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>○上記を基本に考え、その都度家族に連絡を取り確認し、家族からの対応方針等での良い関係を築いていると思っております。</p>		<p>○家族と同じ考えの方向へと介護支援をしている ○家族のつらい心情を考え受け付けられるようその旨を伝えている</p>
<p>○本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>29 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。</p>	<p>・家族関係のトラブル、相談を受け解消に努めている。 ・作業を本人、家族と共に考え、家族にプレゼンしている。</p>		<p>・利用者さんに対しての支援に対して、家族間での意見のくいちがいのトラブル等仲介に入り、良い家族関係、本人との関わりとなるよう心がけ、支援している。</p>
<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>30 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>○本人の希望を尊重し提供している。</p>		<p>○余市散策に出かけた ○山菜採りに出かけた ○居室に電話があり、連絡がとれている ○電話は自由にかけるようになっている ○雨天時、タイトタイム倉庫を共にして宿泊する事もある。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	毎日の生活の中で信頼感を得られる場面 頻りに取り合っている ○仲の良い関係作りに向けて支援している		○同じ楽しみを味わう事で気持ちの ひびきにあつて趣味(ぬり絵、パズル、歌謡) を共有。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	○行事に参加して頂いている ○訪ねていき 今の生活環境を大切にする		○案内や時には電話での交流 ○変化した環境での意見交換
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	○家族とのコミュニケーションの中から入居者の生活スタイルを 知り本人に合った介護をアセスメント結果 言葉は自ら 明らかにしている		○1対1で話す機会を設けて信頼関係を を築いている。
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	○家族よりお話を頂き記録に届める事で 把握している ○通院入院等 出来た所より把握を得る		○個人ファイルをつくり把握
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	○バイタル測定に始まり日々の入居者の特徴 や変化を見ながら日誌におこめる。		○具体的に記録
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	○気軽に意見を言ってもらえる雰囲気作りを している。		○チームで介護計画 作成を 介護支援専門員の適切な指示を 受ける。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	家族に介護計画の意味を説明し、現在の現状に即した計画のために意見を求め、カンファレンス時、職員から出た意見も採り入れ、本人が望む計画を作成する形にしている。		毎月のケース会議で、現状に即した計画を介護支援専門員の管理のもと、作成し、本人・家族の承諾を得て見直しが出来ている。
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	1か月ごとのケアプランのまとめを作成し、担当者は本人の意見を求めおき、カンファレンス時、活発に意見交換が行われ、会議の記金録もあつて、確実に実施している。		1人1人の本来的な観察の上で個別対応。 毎朝全ユニットで申し送りを実施し、ホーム長・職員の意見をまとめて送り出しに記金録・小情報も共有して実施に生かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	○入院、買物送迎等の支援 医療処置を受けながらの生活の継続 本人・家族の希望により、冬期間の入院の回避 家族の福祉 美容室移送		○大田・早稲谷・高幡 ○入院中に外科治療強度により皮膚科の診察により治療 ○近隣住民から認知症ケア対応
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	警察への協力依頼し、消防署とは防火訓練を通じてつながりが出来ている。近隣の薬局、衣料品店、町内の方も不思議に思った下祭には準備音してくる方もあり、協力をお願している。地区センターとの協力		○地区センターとの交流が深まり、社交ダンスサークルに参加している。 ○研修会に積極的に参加するようになっている。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	関係もよきつつあって、少しづつ、生活域が広がるので取りあみもあせている。 支援している。家族から許可を得る 他の事業者と情報交流を深めている		○デイサービス (大田・病院) ○お祭り作り ○ダンスサークル (地区センター) (西区ちえい) ○折り紙サークル (生協での開催)
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○看護士の確保 ○週1度の主治 ○薬局の方より薬の服用方法を説明受ける 		<ul style="list-style-type: none"> ○週に1回5日の勤務により入居者の健康確認 ○採血をはじめ一般状態を把握 ○薬に依存する事なく上手に服用する事からお話しを頂く機会を以て理解を得る。
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各専門医の協力のもと診断・治療を受けている 		<ul style="list-style-type: none"> ○その時々状態において気軽にアドバイスしている。 ○定期的には健診、診断等を受ける (服)
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○看護職員の確保 ○訪問看護士の協力を得る 		<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に来て下さる看護士と情報交換ノートのやりとりで適切な支援
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○入院の際には退院に向けての状況の把握に病院関係者より情報を得る事で適切に対応している 		<ul style="list-style-type: none"> ○相談しやすき体制が出来ている。
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本人と普段日常会話の中で情報を得る ○家族と話し合う機会を設けている。 		<ul style="list-style-type: none"> ○エリケの様子会話の中で心を読み取る。
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身寄りなど、利用者の希望をとり入れる ○「できること、できないこと」を見極めた意見交換を定期的に確認する 		<ul style="list-style-type: none"> ○本人希望にグループホーム内でのお送式を実施

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>情報共有する事でスムーズに実施出来ている。</p>		<p>本人(退居者エン)からホム長に連絡が来? 誰かに来ていと依頼され、小情報共有のホムから出むき、写真等持参し面会した。ホムに来所する日程を決定する予定。</p>
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>スタッフ一人ひとりが日々、言葉使いや表情に気をつけ利用者さんに対して謙虚に対応するよう心がけている。</p>		<p>スタッフ一人ひとりが日々言葉使いや表情に気をつけ利用者さんの前ではイニシャル対応したり居室にて話したり、不快感をあたえないように個人情報の取り扱いには充分配慮している。</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>忍耐強く働きかけたり、見守りを行い励ます事にも力点をおき支援している。本人に納得いただけるよう支援しています。</p>		<p>ゆくりとお話しする場を確保、その人に合った声かけを行い、自己決定の場が増えるようにしている。</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>本人を尊重し忍耐強く見守りしたり、働きかけたり本人のペースを大切に、できるだけ希望にそって支援をしている。</p>		<p>一人ひとりの想いを大切にペースに合わせて食事時間、食べたい物、行きたい場所、塗り絵、パズル等の支援ができるよう取り組んでいる。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>びじみの理美容院の利用を支援し入居者の好みに応じた髪型にしていただいています。入居者さんはいずれも清潔で服装やアクセサリー等、その人らしいおしゃれを楽しんでいる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・びじみの理美容院を利用している。 ・ネイルアート、アクセサリー、化粧品、好みの衣服を選んで着用している。
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>慢性疾患を持つ入居者さんも多いが健康状態に合わせておいしそうに見える盛り付けの工夫臨機応変にメニュー変更もしている。可能な場合にはお手伝いして頂いています。目での食感が出る工夫をしている。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・キガミ食の方であっても普通食をお出しして目で食材を楽しんで頂くから、ギガミを入れるよう心掛けている。 ・利用者さんの意見を取り入れ献立を立てている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ◦南犬立に取り入れている ◦急激に買い物が出かけ食料等を確保し置く。 		<ul style="list-style-type: none"> ◦希望により食事メニューの作成 ◦テイクアウトの時間を楽しんでいる
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ◦個人々の排泄リズムに合わせて声掛け促している ◦トイレでの排泄自立に取り組んでいる 		<ul style="list-style-type: none"> ◦怒意を持って取り組んでいる ◦個人々の排泄リズムに合わせて誘導
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ◦基本的には週2回入浴 ◦お風呂は夜間以外いつでも利用できる ◦シャワーバス設置 		<ul style="list-style-type: none"> ◦柔軟に対応しいつでも入浴できる体制である ◦回数、時間も柔軟に対応
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ◦リビングにソファベッドを用意 ◦清潔な寝具を用意 		<ul style="list-style-type: none"> ◦TV観望から～ベッド中心のくつろぎのソファベッドで寝眠ができて休息し落ちついて頂いている ◦細めに洗濯(寝具)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ◦カラオケ ◦洗濯、食器洗い、洗濯、一般的な家事 ◦好みのDVDや、TVで楽しむ。 		<ul style="list-style-type: none"> ◦ホームカラオケで楽しむ頂く ◦出来る範囲でお手伝いして頂く ◦個人の好みの番組を録画して提供
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> ◦自分で小遣い管理 ◦ホームでの預り金の中から渡す 		<ul style="list-style-type: none"> ◦必要に応じて渡し 買い物等の楽しみを得てもらっている

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○日常的な外出支援</p> <p>61 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。</p>	<p>○その日に利用者さんが自己決定した事を支援する よう心がけている。</p>		<p>○その日食べた、お風呂や消耗品、衣類等の買い物、火田庭の手入れ作業の見守りを実施している</p> <p>○クラスに菜園を作り工夫におアテイタイム合事をすめに取り組んでいる。</p>
<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>62 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。</p>	<p>○ホーム長、職員、利用者さんと話し合いの場を作りそれぞれの希望を聞き家内と協力してどのように相談し実施するにはミーティングで検討計画をたて実施できるように支援している。</p>		<p>○思い出の地に出かけたり、遠方の親戚の方との再会が出来るように支援している。</p>
<p>○電話や手紙の支援</p> <p>63 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>○電話は自由にかけるようにしておき開放的。</p> <p>○手紙の場合依頼があれば支援している。</p>		<p>○家族、知人との連絡がいつでも可能。</p> <p>○フライングメール書きし子機対応で居室での使用も可能。</p>
<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>64 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>○御家族の訪問の際には、明るくお迎えしお茶をお出ししている。台所のポイントにはお湯とお茶が用意されており自由に利用が出来る。入居者と一緒の食事をしたり宿泊することも可能である。</p>		<p>○手紙に関しては、住所を確保して渡している。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>65 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>契約書にも記載しており、実際に拘束は行っていない。</p>		<p>○職員1人々が身体拘束をしないケアについて理解しており実践出来る。</p>
<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>66 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。</p>	<p>AM 7:00 ~ 17:00 施錠開放 P.M 17:00 ~ 7:00 施錠鍵</p> <p>○施錠時間の短縮し改善をはかった。</p>		<p>○AM 7:00 ~ 17:00 施錠開放し自由に出入り出来るようにしている。</p> <p>○職員は利用者さんの情報を把握出来るよう連携を取り安全に努めている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>常にアンテナを張って見守り</p>		<p>○よりけいふ重さの中で安全に配慮している</p>
<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>○目の届かない所へ保管 ○包丁、ハサミ等使用を促すため一定の目の届きづらい所に保管し明確に取決めしている</p>		<p>○管理している所が目の届くところにある ○管理方法等明確に取決め実行している</p>
<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>○事態が発生した場合事故報告をまとめてケース改善につなげる ○この時のマニュアルがある</p>		<p>○再発防止の為に話し合い今後にかける意義づけを行う</p>
<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>○職員は救急救命の講習を受けている ○緊急時の対応マニュアルを掲示している ○管理者、ホーウ長との連絡も24時間可能</p>	○	<p>○定期的に確認しあう。</p>
<p>○災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>○避難訓練の実施 ○運営推進会議の場で協力を求めた。</p>	○	<p>○避難ハンゴを利用での訓練 (年に2度)</p>
<p>○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>○個々の身体能力に合わせた日常動作の中で考えらる又余剰出来ていリスクに対しての話し合いの場を設けている。 ○家族とは常に話し合いの場を設けている。</p>		<p>○規制行事のついでにエリケイフイ中での見守り重視に努める。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>73 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>○看護師対応で観察・受診実施</p> <p>○家族に状況報告し受診の依頼、定期往診日に医師に相談をし指示通り実施。○ホム取を24時間連絡が取り指示を受け対応。○ホム長まで対応する事柄。</p> <p>○主治医に状況説明・指示を受け対応</p>		<p>○夜勤時、AM3時に他階の職員室で利用希望。職員の現状況の連絡を取り協力し合う。</p> <p>○起床時二人で朝食に関する協力も行っている。</p>
<p>○服薬支援</p> <p>74 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>○全ての職員が全ての入居者の薬の目的、用法、副作用について周知しており、変更時必ずチェックして症状の変化に十分留意し記録し、申し送りの実施</p>		<p>○温度板に個々に薬表をつき変更時のチェックをスムーズに出来るよう配慮し特に居室担当者は再チェック・連絡帳に記録し職員全員が把握する仕組みが作られている。</p>
<p>○便秘の予防と対応</p> <p>75 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>○排便につながる食料を多種取り入れ、ヨーグルト関係の摂取量を増やした事で下剤の服用量が減ってきている。</p> <p>○よく噛む・腹圧マッサージ・肛門マッサージ・体操を行う事で便秘の忍耐強く声がけ見守りで浣腸に頼らない工夫している。</p>		<p>○ホットパック、腹部・肛門マッサージ、リラクゼーション体操野菜中心の食事の心がけにより相談し薬を変更しお薬と便秘に関して改善してきている。</p>
<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>76 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>○毎食後口腔ケアの実施</p> <p>○義歯の手入れの支援</p> <p>○歯科往診にて実施</p> <p>(歯科医の指導を受け実施)</p>		<p>○変化のある時は早々に歯科往診</p> <p>○日々の口腔ケアに関しては声掛け、一部介助介助にて確実に実施</p>
<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>77 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>○1日の水分や栄養のバランスに配慮。体重測定、血圧を毎日行う。</p> <p>○カロリー計算(時々実施)</p>		<p>○地区センターに搬立を依頼して頂いた</p> <p>○個々に応じて粥、キザミ、常食の対応。</p> <p>○量については持病に合った対応</p> <p>○水分、食事量毎日表に記録し配慮</p>
<p>○感染症予防</p> <p>78 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)。</p>	<p>○マニュアルを作成し感染症に対する予防や対応について話し合っている。手洗いの励行には特に留意している。</p> <p>○面会者に対してフロアに入られる前に手の消毒を促すよう設置がある。</p> <p>○インフルエンザ予防種の実施</p> <p>○検便</p>		<p>○冷蔵庫、台所廻りアルコール消毒、グリグリ対応</p> <p>○床、手すり、トイレ等グリグリでの掃除を実施</p> <p>○口腔ケア、身体介護時個々にグローブを使用対応</p> <p>○食事担当は介護時のエプロンを取り替える作業</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>79 ○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>調理用具等(台所廻り)アルコール消毒。 フリーzer対応、グローブ使用対応 食材も常に新鮮な物を利用。</p>		<p>左に同じく対応</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり</p>			
<p>80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>○出入口の開放 ○花壇に色とりどりの花を咲かせている ○野菜作り ○清潔を心掛けている(掃除の励行)</p>		<p>○夜間はナシロックで施錠しているが、日中は開放している ○水撒き草取り等 ○カラス等で開放的植木・鉢花を置ける</p>
<p>81 ○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>○四季に応じて壁を利用してデコレーションを行い楽しんで頂いている ○調度や設備、物品や装飾品等家庭的</p>		<p>○居間・食堂等明るくゆたかにしたより家庭的なテーブルなどを置いている ○出入り自由なバランジには野菜などの家庭菜園。</p>
<p>82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>○自分用。座布団・膝掛けを用意中たりと過ごせる雰囲気作り ○1人数で囲むテーブルを用意し趣味を楽しんでもらう(花を活けたり、読書、お絵)</p>		<p>○ゆたかにしたより子供食堂テーブルで自由に過ごす事ができる ○気の合った者同士でバランジに置いている椅子に腰掛し談話お茶を飲む。</p>
<p>83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>○家族の協力のもと可能な限り本人の使い慣れた物で部屋作りをしている(お人形、ダンス寝具等)</p>		<p>○家庭的な雰囲気を心掛けている</p>
<p>84 ○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>○定期的に窓を開け空気を入れ替え ○換気扇を必要に応じて作動している</p>		<p>○空調設備が整っている ○風通しの良い環境作り</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	○環境整備には気をツケ、事故のない様居室フロア内を安全に三歩動出来るよう、常に西に施している ○安全に自転車こぎが出来るとスペースがある ○窓にはロック金建もあり、安全に空気入れ槽が利用者さん出来る		○利用者さんの状況に応じて、居室の環境を整備し、安全に生活出来るように、転落しない工夫、リボンにて安全に造る等、その日のうちに対応できるようにしています。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	目印兼目隠しとする工夫をし、三角に折って「トイレ」 「入居者の名前」イラスト入りの名前が張ってある ○いつも同じ場合に居る方の移動時		○バリエーションは新築にもケガの状況が軽減するようにはクッションでかいたり、包装紙にて使用するアクリル板反響の物を使用したりして工夫をしている。 ○いつも同じ場所に居る方の移動時利用者さんの音見を1歩ずつ聞いてから実施。 ○常にどうしたの？ 困った事ありませんかと聞いています
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	家庭的な雰囲気と活動出来るように西に施し、自由に利用したり、出入り出来る空間を築める工夫をしている。		○玄関先には花たんがあり好きな花を買って来て植えたり、ベランダ菜園をし、椅子を置き、自由に入りが出来、のんびりする事が出来る ○洗濯物や布団を干したりするスペースがあり家庭的な雰囲気となるように工夫している ○ホーム前でバーベキューをしたりベランダには椅子を置き、楽しめるよう工夫している

V. サービスの成果に関する項目

項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96 遠い場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	<input checked="" type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くいない
98 職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ② 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

各フロアの職員の間での利用者お互いの交流 D-サービスに力を入れている
 又利用者日々の自然体暮らし 外来者の交流